

認知症を学び、地域で支えよう（認知症サポーター）

高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824・73・1165

認知症は、脳の病気や障害などにより、認知機能が低下し、日常生活に支障がある状態をいいます。令和7年には65歳以上の人の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症を不安に感じる人もいると思いますが、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことができます。

認知症サポーター

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を見守る「応援者」です。

認知症サポーターになるには、市が実施する「認知症サポーター養成講座」を受講する必要があります。これまで小・中・高等学校の児童生徒や、金融機関の職員、サロンの参加者など、多くの人に受講していただいています。

本年は7月9日に、高・北自治振興区の民生委員児童委員12人を対象に講座を開催しました。講座では、認知症キャラバン・メイト（※）の吉岡利絵さん、瀧本恵さん（※）に協力いただきました。※キャラバン・メイト

認知症サポーター養成講座の講師を務め、認知症に対する正しい知識を広める役割を担います。



講座の様子

【参加者の声】

近所で見かけたら、声を掛けて様子を見る。困りごとがあるようなら、相談しながら解決できる方法を一緒に考えたい。
・家族が認知症かな？と思ったときに、どのように本人を納得させて受診するか、難しいと思った。

認知症サポーター養成講座を受講しませんか

市は、認知症に対する普及啓発や認知症サポーターを増やすため、出前トークのメニューに「認知症サポーター養成講習」を用意しています。

受講を希望する場合は、行政管理課広報統計係（☎0824・73・1159）に申し込んでください。
なお、申込書は市ホームページにも掲載しています。講習内容についての詳細は、高齢者福祉課地域包括支援センター係（☎0824

73・1165）にお問い合わせください。
●新型コロナウイルス感染症の状況により、講座を中止する場合があります。
●講座を修了した人には「認知症サポーターカード」をお渡しします。



認知症サポーターカード



庄原市高齢者・認知症支援イメージキャラクター

9月は世界アルツハイマー月間、9月21日は世界アルツハイマーデーです

認知症は高齢者だけでなく、若い人もなる可能性があります。家族や知人が認知症になったとき、あらゆる世代がお互いを尊重しながら助け合うため、まずは認知症について正しく知ることが大切です。

市は、市民の皆さんが認知症について正しい知識を持ち、認知症を特別なものとせず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「まちづくり」を進めるため、認知症に関するパネル展示を行います。

パネル版認知症介護予防講座

●とき 9月18日(土)～26日(日) ●ところ 庄原ショッピングセンタージョイフル2階